

南極通信

【定時制】第 2 号

R 6 年 12 月 16 日



「しらせ」の生活はいかに？

しらせ船上生活開始から早1週間が経ちました。私は幸いにも船酔いせず、元気に過ごしています！今回は、しらせでの生活について紹介します。右が、1日のスケジュールです。

・起きる時間や食事の時間は決まっている。艦内放送に従って、起床や清掃を行います。

・食事はしらせ乗務員が3食すべて作ってくれる。とてもおいしいです！

・基本的にはインターネットが通じない。観測隊員は、休憩時間にボードゲームやけん玉をしてリフレッシュしています。

・ずっと船の中になると、とにかく運動不足になる。許可が出た日は甲板でランニングなど、艦上体育ができる。

空き時間に南極通信を作成したり、南極授業の準備をしたり、観測隊の方々に取材したり…。毎日新しい発見があって、とても充実しています。あっという間に昭和基地に着いてしまいそうです。

☆ 船という閉鎖空間や、南極という厳しい環境において共同生活するために、観測隊は「安全第一、5分前行動、自主性発揮、お互いをよく知る」心構えが求められます。これは学校生活をおくる上でも、大事なことですね。

「しらせ」の1日

05:45 人員確認 ※当番が各部屋を回り、全員いるか確認

06:00 総員起こし(起床)

06:00~06:20 朝食

講義、訓練、海洋観測など

10:50~11:30 昼食

講義、訓練、安全講習、打ち合わせなど

16:50~17:30 夕食

18:15~ 観測隊ミーティング

19:00~20:00 清掃・巡検(または火の元点検)

22:00 消灯



金曜日は「カレーの日」!

↑ 隊員公室。観測隊が食事やミーティングをする場所です。



隊員は基本的に2人部屋。朝6:00になると「総員起床!」と放送が入ります。



隊員居住区画の廊下。20時の巡検が終わると赤色灯に変わります。

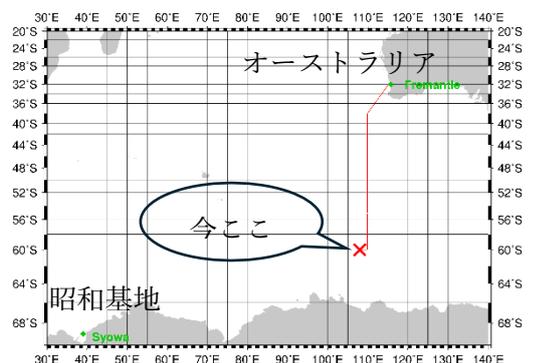
しらせは今どこ？

12/15(月) 13:00【日本時間15:00】時点

東経110度、南緯60度のあたり(右図×印)にいます。

ここから西に進み、時差が開いていくため、一日がだんだんと長くなっていきます。

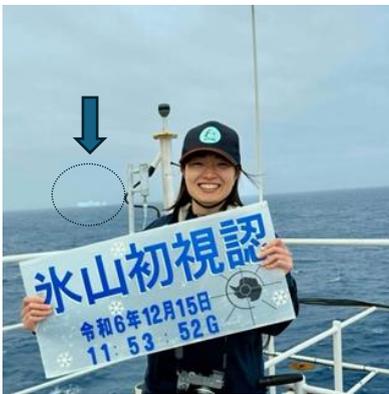
12/15(月)の気温は最高 3℃、最低 1℃でした。寒い!





12/14(土) 南緯55度を通過! & 12/15(日) 冰山初視認

12/14(金) 07:56 南緯55度を通過しました。生活面では、この日を境に、提供される食事のカロリーが高くなります。また、しらせ船内に郵便局が開設され、手紙やはがきを出すことができます。写真右はもう一人の派遣教員、長浦先生です。



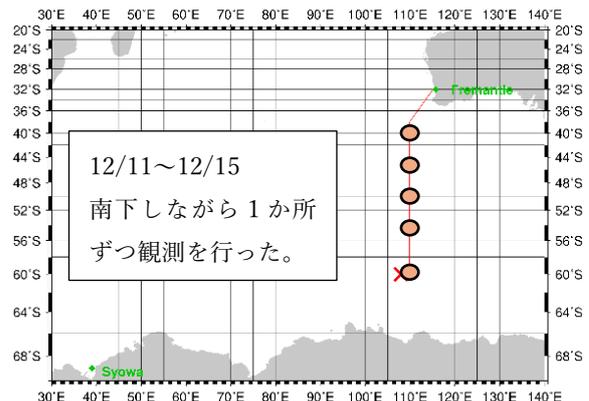
12/15(日) 11:53 冰山が初視認されました。

「左前方、冰山らしきものを確認!」と艦内放送があり、急いで艦橋へ。すでにたくさんの観測隊員、しらせ乗務員が初冰山を見ようと集まっていました。船の左前方を見ると、そこにはポツンと白い山のような氷が! 流氷とは違い、本当に山のような形をしています。いよいよ南極大陸へ近づいているのだな、と実感しました。この先待つ、白い氷の世界まであと少し。ちなみにこの冰山の高さは推定40m、幅は推定260mとのことでした。



海洋観測 ~東経110度の定点観測5地点、すべて達成!~

南極地域観測隊は1987年から毎年、昭和基地に向かう往路で、東経110度ライン上の南緯40、45、50、55、60度における採水、およびプランクトン採集を行っています。同じ時期に、同じ海域において実施することで、長期的な変動を観測することができます。このように、毎年航路が変わらず、さらに同時期に航行する南極観測船は世界でも希少であり、長期間続けている国は他にありません。今年は天候に恵まれ、5年ぶりに5地点すべてにおいて、ミッションを達成することができました!



往路は毎年同じ航路をとる。